

第30回JCBH 講演会 「無国籍という生き方」

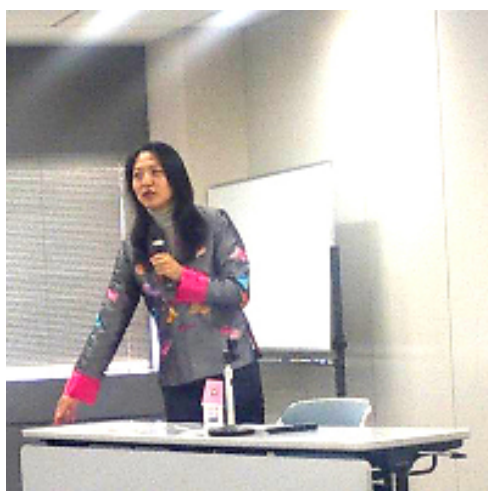
日時：10月25日（水） 15：30～17：30

場所：積水ハウス株式会社 20F （渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー）

講師：陳 天璽（チン テンジ）女史（国立民族学博物館助教授）

プロフィール：横浜中華街生まれ。筑波大学・大学院を経て、香港や米国の大学などで、無国籍者や移民、華僑、華人の研究を重ねる。

著書に『無国籍』、『華人のディアスポラ——華商のネットワークとアイデンティティ』など。



今年度の当協議会講演会講師は、横浜中華街でお生まれになり、2003年まで「無国籍」で過ごされたという異色の経歴をお持ちの陳天璽（チン テンジ）先生のご講演をお聞きしました。

私たちが生活する上で空気のように当たり前が存在するのようになる「国籍」というものについて、ビデオ映像などを使ってご講演いただきました。

熱のこもったご講演に、ご参加の皆様もハンカチで目の辺りを拭いておられました。

講師： 陳天璽先生

【ご講演内容】 無国籍者という生き方 （陳天璽先生のレジメより）

無国籍者とは：法的にどの国の国籍も有しない人

無国籍者となる原因：多くの原因がある

無国籍者の人数：日本：約2千人 世界：約数百万人（統計に表れない数もある。）

日本に生まれ、そして無国籍者となった経緯

日本にいる他の無国籍者：白系ロシア人、台湾人、朝鮮人—政治的問題

アメラジアン、フィリピン（JFC）など—法的問題

不思議いろいろ：無国籍の人も持っている「外国人」登録証。

日本国籍を得るためには

グローバル社会と無国籍者：外交官、国連職員になるには

無国籍者を通してみえてくる世界：国や法、そして個人のあり方



（関連記事：会報 NO.165 掲載）